

科目名	教育基礎論			担当教員	龍崎 忠	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	
期待される学修成果						
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験	教諭（講師を含む）					
実務経験を生かした授業内容	学校現場での指導・助言の経験を生かし、教育の理念や歴史について受講者とともに検討する。					
到達目標及びテーマ	<到達目標> １．さまざまな教育の理念や思想や歴史について説明することができる ２．これからの時代にふさわしいと思われる教育の在り方を論理的に説明できる ３．教育学の“おもしろさ”を積極的かつ多面的に見出しそれらを説明できる <テーマ> 教育とは何か、教育とはどうあるべきかについての考察					
授業の概要	「教育とは何か」と同時に「教育とはどうあるべきか」の両者について、教育改革を含めた現代の諸動向をふまえ、教育と教育学に関する基礎的な理論や具体的な実践を交えて概説する。教育の理念・歴史・実践といった多様な観点から考察することを通じて、人間の理解と発達援助の学としての教育を、より広い視野において学ぶことを目的とする。 【デジタル技術利用 該当番号：３，４，５】					

授業計画	
第1回	1. ガイダンス(人間にとって教育とは何か)：教育の原理
第2回	2. 教育の意義と必要性(教科書第1章)：教育の原理(続)
第3回	3. 乳幼児期の教育の理念(第2章)：子どもの最善の利益
第4回	4. 児童期の教育の理念(第3章)：幼小中高の接続
第5回	5. 教育の歴史と思想(第4章)：子ども観と教育観
第6回	6. 学校教育の仕組み・制度(第5章)：教育行政
第7回	7. 教育の内容と方法(第6章)：子どもに育てたい力
第8回	8. 教育の計画と評価(第7章)：PDCAサイクルと教育
第9回	9. 子どもと環境(第8章)：自然と文化のなかの子ども
第10回	10. 専門性の発達(第9章)：教師教育
第11回	11. 文化的営みとしての教育(第10章)：教育と文化
第12回	12. 学び続けるということ(第11章)：生涯学習
第13回	13. 社会福祉としての教育(第12章)：子育て支援
第14回	14. ジェンダーから見る教育(第13章)：隠れたカリキュラム
第15回	15. ケアリングと福祉としての教育(第14章)：教育学を広げる

事前学修	2	あらかじめ教科書の当該部分を丁寧に読み、うまく理解できない用語や内容を調べておく。
事後学修	2	取り上げた内容について理解や関心が深まったものをさらに調べる。
フィードバックの方法	リアクションペーパーについてはコメントを付して次回に返却する。内容に応じて全体でシェアする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	70%	毎回テーマに係るワークを交える
レポート	30%	期末のレポートを実施する
定期試験	0%	定期試験については実施しない

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
コンパス教育原理	古賀一博・中坪史典・加藤 望 編	建帛社	4767951300	なし
参考資料				

科目名	教育基礎論			担当教員	堤 優貴	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	
期待される学修成果						
アクティﾌﾞ・ﾗｰﾆﾝｸﾞの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	1)教育の基本的な概念や現代の教育問題について理解する 2)教育の歴史や思想に関する基本的な知識を身につける 3)上記の知識や理解をもとに、自らの教育観（教育とはどのようなもので、どうあるべきかについての考え）を述べることができる					
授業の概要	本講義では、教育学についての基礎的な知識や現代の教育問題について解説しつつ、それらを歴史や思想といった観点から捉えなおしていく。上記を通して本講義は、受講者自身が、教育にまつわる様々な体験を、学術的な観点から捉えなおすことができるようになることを目指す。また、時折、映画などの視聴覚メディアを用いた授業を行う。 【デジタル技術利用 該当番号：①、③、④】					

授業計画	
第1回	○はじめに：オリエンテーション 第1回：ガイダンスー教育とは何かー
第2回	第2回：基礎概念1 人間形成空間としての学校
第3回	第3回：基礎概念2 学校のない社会の教育
第4回	第4回：基礎概念3 学校の今／昔
第5回	第5回：近代の教育思想1 J. A. コメニウス
第6回	第6回：近代の教育思想2 J.-J. ルソー
第7回	第7回：近代の教育思想3 J. H. ペスタロッチ
第8回	第8回：近代の教育思想4 J. デューイ
第9回	第9回：近代の教育思想5 ヘルバルトの教育思想とヘルバルト主義
第10回	第10回：日本の教育の歴史1 近代的学校教育の開始
第11回	第11回：日本の教育の歴史2 教育勅語とその影響
第12回	第12回：日本の教育の歴史3 教育勅語のその影響 戦後教育の開始とその展開
第13回	第13回：近代教育批判以後の教育1 フーコー
第14回	第14回：近代教育批判以後の教育2 イリイチ・アリエス
第15回	第15回：まとめと討議ー近代教育批判以後の教育思想ー

事前学修	2	授業シラバスの項目について、事前に学習をしておくこと。
事後学修	2	授業で提示した課題について、調べ学習を行うこと。理解した内容について、各自のノートにまとめておくこと。
フィードバックの方法	提出した小レポートについて、次回の授業内で講評を行い、学習発展に供する。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
レポート		60%	最終レポートおよび小レポート。
上記以外の試験・平常点評価		40%	毎回のリアクションペーパーおよび授業参画度。
定期試験		0%	定期試験は行いません。
補足事項	特に無し。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
教育と出会いなおすための教育思想	間篠剛留	教育開発研究所	4865606092	特に無し
参考資料	必要に応じて参考資料を紹介する。			